

**「第5次名護市総合計画（後期基本計画）及び
第3期名護市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略（素案）」に関する
パブリックコメント（市民意見）に対する名護市の考え方**

意見募集期間：令和7年10月15日（水）～11月14日（金）

閲覧方法・公表：名護市役所1階ロビー

名護市役所各支所（羽地支所、屋部支所、久志支所、屋我地支所）

名護市ホームページ

No	ご意見	ご意見に対する市の考え方
1	<p>【P.47 人口ビジョン 目指すべき将来の方向等】 名護市の人口が減っているのは、やっぱり「仕事の少なさ」とか「遊ぶ場所の少なさ」などで、若い人が地元を離れていくことが多いからなのではないかと思います。でも、名護市は綺麗な海や山も近くて自然がとても豊かな所や、地元の人たちがフレンドリーなど人のあたたかさもあって、他の市町村にはない魅力がたくさんあると思います。なので、地元でやりがいのある仕事が増えたり、自分のペースで働ける環境がもっと増えたら、名護に残りたい・戻りたいって思う人も増えると思います。また、カフェとかイベントとか、若い人が楽しめる場所があると、名護での暮らしがもっと楽しく感じられそうです。また、若い人だけでなく、子供からお年寄りまでみんなで使える「まちの広場」として多世代スペース的な場所があると名護市全体がもっと元気になる気がします！</p>	<p>名護市の魅力や課題について、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>市としても、「地元でやりがいのある仕事が増えることや個々のペースで働ける環境が整うことで地元への定着が促進される」というご指摘については、まさにその通りであると認識しております。「若者に選ばれるまち」を目指すにあたって若者層の転出を抑制し、不就労者の解消を図るため、希望する職業に就けるよう就労支援の充実を図るとともに、企業誘致等による多様な職種の確保に努めてまいります。</p> <p>また、カフェやイベント、若い世代が楽しめる場所につきましては、現在 21 世紀の森公園において Park-PFI 制度を活用し、民間事業者により、カフェやレストラン等の飲食施設、ブライダルをはじめ様々なイベントに対応した施設、物販機能を有する施設の整備、ビーチハウス等の改修が進められています。隣接する児童センター跡地に、名護市が大型遊具の整備を進めています。地元住民はもちろん、観光客の誘致も図りながら、賑わいのある居心地の良い空間づくりに取り組んでまいります。</p> <p>さらに、多世代スペース等のご提案につきましては、名護博物館の隣に乳幼児から高齢者まで幅広い世代が利用できる多世代交流施設の整備を進めています。この施設では子どもの居場所や子育て世代の相談窓口、情報発信、高齢者の生きがいづくり等を目的とした複合的な機能を備えることで、世代間の交流を促進していきます。</p> <p>市民の皆様が日々の暮らしの中で楽しさや喜びを感じられるよう、引き続き Well-Being の向上を目指して取り組んでまいります。</p>

No	ご意見	ご意見に対する市の考え方
2	<p>【P.91 政策2 施策1 児童・子育て家庭への支援】 現役保育士です。保育所の施策がたくさんあって、色々考えていただいて嬉しいです。あとは保育士の処遇改善があればよいなと思いました。</p>	<p>この度は名護市の保育施策に対して温かいご評価をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>保育士の処遇（給与）に関しましては、近年、国の公定価格改定に伴い、増加傾向にあるものと認識しております。</p> <p>併せて、名護市独自の施策といたしまして、市内認可保育施設へ就職した新卒の保育士や潜在保育士の方などを対象に、就職1年目と2年目の合計で最大30万円を助成する『名護市保育士等緊急確保事業』を令和元年度から実施しております。</p> <p>さらに、令和7年度より保育士等の就労継続を応援するため、市内認可保育施設で勤務した年数に応じて5年目、8年目、11年目、11年目以降は3年ごとにそれぞれ給付する『名護市保育士等継続応援給付事業』を開始しております。同事業は継続3年ごとに繰り返し受給することができる事としております。</p> <p>今後とも、保育士の方が安心して、魅力をもって働ける環境づくりに取り組んでまいります。</p>